

令和7年5月教育委員会定例会会議録

日時 令和7年5月27日（火）

9:30～11:30

場所 波佐見町役場 第4会議室

出席者：森田教育長、山下委員、馬場委員
富木委員、松尾委員

事務局：渡邊指導主事、林田次長

- ・ 出席者確認 全員出席
-

1. 会議録署名委員氏名

馬場委員、富木委員で了承されました。

2. 前回会議録確認

（4月定例会の会議録を確認。）

3. 報告事項

（1）教育委員会

4・5月事業報告、及び5・6月予定について （別紙により林田次長報告説明）

（2）給食センター

4・5月事業報告、及び5・6月予定について （別紙により林田次長報告説明）

（3）絆の日について

（別紙により渡邊指導主事報告）

（4）令和7年度教育委員会関連の工事等について

（別紙により林田次長説明）

（5）6月議会定例会について

（林田次長説明）

（6）ながさきピース文化祭2025について

（別紙により林田次長説明）

（7）その他

3. 報告事項

5. その他

森田教育長	それでは、3の報告事項について、次長からお願いします。
林田次長	(1) 教育委員会に伴う4・5月事業報告、及び5・6月予定について別紙資料をお開きください。 【資料により説明】
林田次長	(2) 学校給食センターに伴う4・5月事業報告、及び5・6月予定について別紙資料をお開きください。 【資料により説明】
森田教育長	次に、(3)の絆の日について、渡邊指導主事からお願いします。
渡邊指導主事	令和7年度の絆の日の参加者、及び感想等を資料にとじておりますが、まず1番表紙をご覧くださいながら、私の方からご説明をさせていただきます。期日は4月30日水曜日、1日木曜日、2日金曜日の3日間、絆の日を行いました。その間、地域との絆、家族との絆、友達との絆を深めるという意味で、陶器まつりの期間中に合わせて取組を進めました。まず4月30日水曜日、縦にご覧ください。 東小学校は、学校図書室を拠点にして、陶器まつり見学に出向いております。中央小学校は学校図書室を拠点として午前中に弁当作りを行いました。こちらの方は、健康増進班の川口栄養士が中心になって、食改さんにも多く入ってご協力をいただきました。お昼からウェイブホール裏側探検として棚倉さんに指導者となっていただき行いました。 南小学校については、学校図書室を拠点として、陶器まつり見学には、バスを使って移動をしております。5月1日は、東小学校は17名の子供たちが参加して、お弁当作りを午前中に行っています。 中央小学校は、陶器まつり見学で19日、南小学校は図書館図書室を過ごしています。5月2日、こちらの方は、陶器まつり見学が東小学校と中央小の陶器まつり見学、南小学校はここで弁当づくりを健康増進班の方が中心となって行っていただきました。午後からは、3小学校個別ではなく、フリーにして10番11番の体験教室を計画いたしました。 内容としては、絵画教室と野球教室です。南小学校の体育館を使って、波佐見高等学校の美術・工芸科の生徒を指導者として研修講座を行いました。子供たちが51名参加してとても盛り上がりました。野球教室については、波佐見高等学校の野球部が1年生から4年生までの子供たちを対象に野球教室を開いてくれました。こちらの方も、生徒たちが20数名来てくれて、ほとんどマンツーマンで対応してくれました。 弁当作りを3小学校で行ないましたが、中央小学校と南小学校は健康増進班の川口栄養士を中心として食改さん、そして5月1日の東小学校は学

校給食センターの職員の方に協力をいただいて、お弁当作りを行いました。内容としては、自分でといた卵を卵焼にする、ウィンナーを炒める、ブロッコリーやアスパラを湯がいてベーコンで巻く、また自分でおにぎりを握ってお弁当にして食べるというような一連のお弁当づくりを行ないました。とても好評で参加人数は資料のとおりとなりますが、例えば、4月30日の中央小学校では弁当づくりに51名が来ました。この人数で果たしてできるのだろうかという心配もありましたが、班割りをして手際よく進めていただきました。とても楽しい活動になりましたので、ご報告をさせていただきます。

2枚目は各関係者からアンケートをいただきました。赤い文字にしているのは、課題であったり、とてもよかった点を中心に載せておりますので、5分ほど目を通していただきたいと思います。よろしくお願いします。

(5分後)

ではよろしいでしょうか。まだ全て終わられてないと思いますが、内容について検討していきたいと思います。まず1番表紙2枚目を見ていただいて、こちらの方は健康増進班の川口栄養士からの意見です。子供たちのため職員の興味関心を育てる目的とすばらしい取組であったというご意見、次は課題となりますが、情報共有、協力、連携の改善が必要だと感じますとの意見をいただきました。

今回は私の方で計画を立てて進めていったのですが、教育委員会内での情報共有ができていなかったというような反省を自分自身として感じています。次に次年度に向けて取組を検討するのであれば、予算の措置であったり、事業協力体制の再構築が必要であると来年度に向けて準備をしていきたいと思います。

4番は中央小ですが、50名の子供が一斉に作るとなると狭いのではないかというような不安もありましたが、川口栄養士を初めとした食改さんの方々の的確かつ丁寧なご指導のおかげでスムーズにできました。

来年度はもう少し早めに参加者を把握し、事前にプリント等でお知らせをしておく方がよいと思いました。これもやはり先ほどと同じように、準備が十分に間に合ってなかったというような反省です。

次6番です。簡単な内容だったので1年生でも楽しく活動ができていました。7番、大変よかった、次年度もこれでいいと思うとのご意見でした。12番、東小学校です。子供たちは喜んで活動に参加をしていた。学校給食センターの方がたくさん来てくださってよかった。参加児童のアレルギーの有無は事前に把握しておく必要があるとのことで、こちらの方も実際作る前には、確認はしておりましたが、もっと事前に把握が必要であったとのことです。14番、南小です。本校は弁当づくりに51名が参加しており、外部の方々のご協力に非常に感謝をしていますとのご意見です。裏面の15番です。初めて自分で火を使って料理する子供たちを優しくサポートしてくださっていました。子供からの評判もよく、自分で握った大きめのおにぎりを一緒に食べていたのが印象でした。南小の職員も8名ほどが常

時参加をしてきていました。お米を一合ずつ持ってきており、それをみんなでご飯を炊いておにぎりを握っていました。食べ切れるのかなっていうぐらいの大きさでみんな握っていました。

次、陶器まつりの見学についてです。1番、今年度の参加程度であれば次年度も可能と感じました。全国2位の波佐見焼のイベントなどで体験することは大事だと思いますとのご意見です。②番の子供たちも1,000円という予算の使い方を考えながら買物をしていてよい練習になったと思います。4年生は子供だけでも大丈夫なように見えたので、1年生から3年生の参加に限定してもよいのではないかという感想も持たれています。6番、定員30名ぐらいで一教員に対し、低学年は2、3人の行動がよかった。職員さんも多く参加をしていただきましたので、お小遣いが1,000円に限定されていたが家庭で話合い、500円の子供もいて店員さんに値切るなどの駆け引きを行っていた。山下委員さんのところにも子供が来たのではないかなと思いますので、後からお話を聞かせていただきたいと思います。10番、波佐見の伝統的行事である陶器まつりを見学できたことはとても素晴らしいことだと思います。

中央小です。引率の教職員が黄色の蛍光のビブスを着用していましたので、子供たちの目印になっておりとても良かったです。次のページ13番、とにかく人が多くて、決めるだけでも大変だったが、ふだんではできない体験ができてよかったと思いますということです。15番、家族や自分のために焼き物類を楽しそうに選んだり、金額を考えながら買ったりする活動がよかったという意見です。18番、南小学校です。陶器まつり見学には38名の参加で本校は路線バスでの移動であり、初めてバスに乗って料金を支払う子供がたくさんいましたという意見です。次、裏面です。絵画教室1番、金曜日探求学習、金探と言われているものです。高校生に関わっていたことは、活動の意義がとても深まり高まったと思っています。4番、東小学校からの移動はバス等がないということを確認者に了解してもらい、その上での申込みだったと思います。というのは東小学校から移動することまで考えていただけたらというようなことがあったのですが、こちらの方は保護者の送迎が基本ということでお話をしておりましたので、保護者の頑張りをここで見せていただいたと思っています。

野球教室、約20数名の野球部員が指導してくれました。2番ですが、高野連から初心者用のバットやボールを全て準備していただいております。初心者の1年生でも柔らかいボールやバットを使って、キャッチボールや打撃練習ができていました。

学校図書館を拠点にして、お弁当を食べに出かけたり見学に出かけたりというようなことをしておりましたが、1番、お昼の休憩のときに本を読みたいという方を見守りました。雨の場合なども利用が増えそうです。読み語りや読み聞かせ紙芝居などの活動もよさそうですとの意見です。3番、中央小です。午後からは、学校独自で活動内容を考えました。1日映画鑑賞をして、校内クイズラリー、2日目映画鑑賞、校内かくれんぼ、2日間あつという間に過ぎていったという感覚でした。子供たちも楽しんで

いる様子が見られました。学校図書館です。全体を通して、1番最後のページになります。3番、朝はおうちの方がいいと泣いていた子供もいましたが、帰るときには、笑顔でまた来たいという子供もいて嬉しくなりました。次におうちの方が仕事だと、家でユーチューブやゲームという子にとってはとてもよい取組だったと思います。家庭環境にも格差が広がっているので、このような取組で子供たちを受け入れることが大切だと思います。4番、絆の日に学校に来た子供たちはいい経験ができたと思いました。ある程度、先生方の協力がないと支援員と数名だけでは大変だと思いました。8番、来年度は先生方の協力を事前に呼びかけ、特勤者を決めておくなどの対策を持って練っておきたいと思いますとの意見でした。こちらで計画を立てて各学校の方に呼びかけをして、子供たちの救護者を募ってという一連の流れでお願いをしましたが、やはり1番大きかったのは皆さんの協力でした。学校の先生方、本来であれば、休みをとってゆっくりすることも可能ではあったのですが、子供たちのためにということで出勤をしていただき、協力をしていただきました。

支援員さんの協力、そして健康増進班の川口栄養士を初めとした食改さん、そして給食センターの皆様、本当に皆さんの協力なしにはこれは実現できなかったということでもあります。心から感謝をしているところです。

絆の日は、今年度初めてこのような形で取組を進めてみましたが、いろんな課題はあったものの、とても子供たちの活動自体が充実していて、高評価を得たのではと思います。また来年につきましては、コンパクトにスムーズにいけるように計画段階から進めていく必要があるものと思っています。以上、絆の日の報告でした。

森田教育長

それでは、絆の日についての感想なり、ご意見なり、お尋ね等がありましたらお願いします。

山下委員

陶器まつりに小学生が参加したということで、実際に私も子供たちが見て回る姿を拝見することができました。そこで、ここにも書いてありますように、お小遣いを1,000円もって、「これは500円だから、あと500円残るね、何を買おうか」という話を聞け、実際にいろんな学びができたのではないかと思います。

3、4人の子供さんと一緒にベテランの先生も付き添ってらっしゃったので、楽しく、和気あいあいと陶器まつりを見てらっしゃるなど感じました。支援員さんと子供たちと一緒にいらっしゃるところで、こちらの方にも書いてあるように、1人迷子になったということで、無事解決したということでしたが、支援員さんが1人いないっていうことに気づかれて、一生懸命探されてすぐ見つかったのではっとされている状況を見て、本当に多くの方が来場いただいたので、先生方も大変だったと感じました。迷子になった子供さんがいらっしゃって、私も、今回は対応させていただいたことがありましたので、その件も含めて、先生方のご指導等にはとても感謝しています。

陶器まつりとしては、よい取組だったと感じました。

森田教育長

ほかございませんか。馬場委員お願いします。

馬場委員

3年目になって、絆の日がかなり充実してきたなっていう感じがするわけですけども、今回いろんな企画をしていただいて、非常によい取組になってきたのではないかと思います。うちの家内は食改の方で2日間参加したのですが、最初は弁当作りが多過ぎてどうなるのかと心配しておりました。やはり新学期始まって、すぐ陶器まつりで準備するのは大変だと思います。次年度は2日間になると思いますが、計画をもう少し早くしていただければいいのかなと思います。

非常にいい面でこういった成果っていうのは、もっとアピールをしていいと思います。よく議会でもどちらかといえば批判的な意見ばかり少数意見として取上げられることが多いのですが、実は非常に子供たちが有意義な時間を過ごしているっていうのを大いに発信できるのではと感じました。絆の日は、もっと発展してきて家庭あるいは地域の方でももう少し広がりが出てくればと思います。例えば、陶器まつりに関係ない人もいらっしゃるわけですが、地域でそういった子供たちと一緒に活動する時間を設けていただきたい。例えば、老人クラブの方と一緒に近くの山にハイキングをしてみるとか、いろいろできると思います。そういった方向に進んでいただければ非常にこの絆の日の意味があるのではと感じています。3年目になって本当いい方向に向かっているなというのを感じました。ゆくゆくは、絆の日ですから、家庭の中でも、協力してくださる方はいらっしゃると思います。例えば、弁当づくりでは、お母さんとかお休みの方といった人も一緒になって、参加をしていただくような方向にしていいただければと感じました。

森田教育長

馬場委員さんがおっしゃったとおり、私たちも本来、絆の日に家族、あるいは地域での活動ということが目的になっていたんで、今おっしゃっていただいたところが最終的な姿だと思っていますので過渡期として、やっていかなくちやいけないということを思っております。1年生から4年生までに限定したことも、保護者の方々の様々な不安を和らげるためにも行ないました。今回、予定よりも急に増えたのは、学童に預けるよりもこちらの方に参加をさせようということで、10名20名が急に増えたというところがありますので、そういった点での経済的なメリットもあったものと思っています。当初は20名で限定したのですが、やはり参加させたいということから10名20名が増えて、実際は多かったということで、想定外であったのですが、その子供たちもできれば受入れたいということで、何とか大人の対策知恵でクリアをしたところです。

求める姿は馬場委員がおっしゃったような形で、次年度以降は、地域の方や保護者の方々に参加を促したり、あるいはアイデアを募集したりして、本来の趣旨に近づくような絆の日になっていけばいいなと思っています。

同時に、この学校をキーステーションとした取組はやはり少しは残していないと不安解消にはつながらないのかなということです。ほかにございませんか。

富木委員

それぞれの学校で例えば、東小学校の場合、12人中17名、18名というような参加がありましたが、3日間通して参加された子供さんはいらっしゃったのですか。

渡邊指導主事

いらっしゃるとは思いますが、こちらの方ではそこまで把握できていません。

森田教育長

ほかございませんか。

松尾委員

絆の日のことですが、感想アンケートの結果のところまでは主体が学校なのか教育委員会なのかっていうのは、やはりちょっとぼんやりしているというような印象を受けました。途中でお弁当づくりを見学に行こうと思い、中央小学校だけ様子を見に行かせてもらいましたが、かなりの先生たちと指導員さんたちが走り回っているような状況で対応されていました。迷子がでたことや、アレルギーの確認ができていなかったということと、あと雨で変更によってどういうふうに変則的に動くことができるかっていうところまでを、次年度は改善が必要と感じました。

恐らく3月までの間に決めてしまい、4月になって何人受け入れることができるかということで、職員や支援員が何人必要か、地域の方、PTAの方、陶器関係ではない方で子供たちと一緒に学校に協力して絆の日に1日だけでも何時間だけでもいいので、参加してもらえませんかというふうに声をかけると、自分の子供だけではなく、よその子様子とか違う学年の様子を保護者の目に入るっていうのは、いいチャンスではないかと思います。ぜひ保護者の方に協力いただけませんかと声をかけるのは有意義なものになるのではと思いました。

あとは途中でありましたが、リュックを持っていたので、見ている大人の方がハラハラしたというような事案があったので、その辺の損害保険をどうしているのかというのが少し気になりました。物を壊したり、事故に遭ったりした時に、苦労しないでいいような対策が必要で確認した方がよいのではと思いました。

あと気になるのは、5、6年生と中学生の部活がある人ない人がどのように3日間を過ごしたかというのを、聞いてみることでできればいいなと思いました。子供たちにアンケートなり、保護者にアンケートをとることができるかどうかをお聞きしたいと思います。

渡邊指導主事

ご意見ありがとうございました。

内容につきましては、今おっしゃったようにとても大人数の子供たちが包丁や火を使うというようなこともありましたので、とても心配でもあり

ました。しかし協力していただける方がとても多かったので、何とかうまく怪我もなくすることができました。今おっしゃったように、PTAの協力や保護者の参加ということも、これからは検討やお願いが必要であると思います。弁当づくりについては、ほとんどの保護者は参加されておられません。夏休みの体験講座は、保護者の方は多くの参加がありますが、今回この絆の日についてはほとんど参加されておられませんでした。時間的に参加できる方には、そういったことも呼びかけをして、一緒にというような取組もしていいのではと思います。一方で、主体は教育委員会が中心になって学校に呼びかけをして協力をお願いしていましたが、全てこちらの方でお膳立てをするってことはどうなのかなと思っておりました。このような体験をしますので、あとは保護者の送迎でということでしたので、ここは保護者に頑張ってもらうところが必要であると思っています。

保険については、学校の教育活動の一環というようなことも適用できますので、スポーツ傷害保険等も適用することが可能になりますので、そこで、もし怪我があった場合には対応ができると思います。1番陶器まつり見学では迷子が心配でした。平日であっても来場者が多くて、子供たちが小さいので、どこにいるのかって分からない状態でした。中央小の先生方は、黄色く目立つビブスを身につけて一緒に行動されたので、子供の居場所が推測はできましたが、もし1人2人が別のところに行けば見つけるのは大変だと感じましたので、例えば、保護者にも一緒に入ってもらえることがあれば、また目の届きやすい状態をつくれるのではないかなと思っています。PTA保護者の協力ということも、次年度に向けては、検討していく一つの大きな材料になると思っていますところですよ。

森田教育長

5、6年生と中学生の過ごし方について、アンケートの実施については考えておりませんが、子供たちの声、あるいは保護者の方々からの意見要望等については集約をする必要があるものと思っています。基本的には、5、6年生、中学生については、自分で考え、家族協議をするという本来の絆の日の趣旨にのっとった形での活動をしてくれたらありがたいと思いますが、もしかしたら対応が必要と出てくるかもしれません。まだまだたくさんあると思いますが、時間都合上、後でも結構ですので、4番の事案について報告をお願いします。

林田次長

(4) 令和7年度教育委員会関連の工事等について6ページ7ページを開きください。

【資料により説明】

森田教育長

それでは、5番の6月議会定例会について報告をお願いします。

林田次長

それでは5番目の6月議会定例会の一般質問に12名の議員の中から10名が登壇されます。そのうち5名の方が、教育委員会関係に対して質問がなされております。

【内容について説明】

森田教育長 それでは次の報告事項 6 番、ながさきピース文化祭について説明をお願いします。

林田次長 ながさきピース文化祭については、9 月 14 日から 11 月 30 日までの間で開催されます。

【資料により説明】

森田教育長 それでは、式次第の 5 のその他について説明をお願いします。

- 林田次長 (1) 令和 7 年度県市町村教育委員会合同研修会について
(2) 民生委員・児童委員との意見交換会について
(3) 学校訪問について
(4) 公共施設の視察について

【説 明】

4. 議題

持ち寄り議題について

森田教育長 4 の持ち寄り議題等について、委員の皆様からご意見等ありましたらお願いします。

山下委員 波佐見陶器まつりの中学生による「はちゃまるグッズ」の販売についての取組は大変よかったと思いました。しかし、販売ブースが芝生広場の奥の方にあり、やはり来場していただいたお客様が足を運ぶのにはどうかなってというような感じもしましたので、イベント広場の建物側の方を数時間でも借りられたら、もう少し周知ができたのかなと感じました。清掃活動では、一緒にしながら、背中にパネルを背負ってされていましたが、ちょっと周知のパネルの方が暗くて、何をしているのかよくわからなかったところがありましたので、そこはパネルを作られる方にもよると思いますが、こういったプロジェクトをしていますという内容を明記したパネルを作られた方が見やすかったのではと思いました。

中学生は清掃活動にも意欲的にされていて、実際そこにいる者としては、やはりごみがすごくありますので、それを少しずつでも拾っていただく活動は大変私たちにとってもありがたいなと思いました。

それから、もう一つ前回の会議の中で、保護者の方による送迎についてということで、総合文化会館への車の乗り入れが小学生に非常に危険であるという苦情があったということをお話されました。中学校の学校だよりで、自力登校送迎についてのお願いで、きちんと載せてありましたけれども、

ウェイブホールと体育センターの間の道路の乗り入れは行わないようにと呼びかけをされていました。今回、車の乗り入れについてのご相談を受けましたのでお知らせします。小熊会館から中央小学校の道路のところは、通学時間の車の進入の規制をしていただいて大変助かっておりますということです。安全は守られているのですが、道路に進入できないために、朝長農林課長の自宅から中央小学校の間で、そこを使って送迎をされる方が非常に多くて、一方通行で行かれるのであればまだしも、また車の方が戻ってこられていることから、そこに住んでらっしゃる方が、通勤時間と重なって非常ににくい状態にあるということで、中央小学校や中学校の方に再度、困っているということをお知らせできないかっていうようなご相談がありました。何か機会がございましたらお伝えいただければと思います。

森田教育長

1点目についてはありがとうございます。2点目については保護者の送迎については、すぐに町内校長会の中で確認をして、特に中学校と中央小については、文書発行等を通じて、保護者に注意喚起と啓発を行いたいと思います。ほかにございませんか。

富木委員

子供たちの防犯についてということで、4月の中旬に川棚小学校の校門付近で不審者が逮捕されたという事件がありましたが、そのあと全国的にも学校に男性が侵入したというような報道がなされましたが、町内での学校の防御体制はどのようにされているのか。また、学校外になりましたら、どうしても先生方の目に届かないというようなところもあり、そのあと3時から4時ぐらいになりましたら、パトカーの巡回が増えたのかなという気がしております。今回また6月に学警連の協議会の中でいろんな報告も出されるのではと思いますが、まずは子供たちの安全、そして子供たちを守る先生方の身の安全というのがあろうかと思いますが、学校内でさすまたとかは置いてあるのでしょうか、そういった訓練はされているのかお尋ねします。

渡邊指導主事

このところ、全国ニュースでも、防犯に対する意識っていうのを考えさせられるような事件事故が起こっているのですが、波佐見町内の学校を言いますと、校門を囲ってしまうということはしておりません。以前、池田小学校の事件があったときにもそのような、例えば門をつくって警備員を置いてっていうような、全国にもそういう事例の紹介があったのですが、一方で、やはり地域に開かれた学校っていうような学校の特性もありますので、地域の方に学校に来ていただいて、防犯をというような思いも学校としては思っています。今回の件を受けて、学校に門を付けたりということ等はなく、地域の方を招きして地域の方でそういった防犯について見ていただくということでおりますけども、今学校にはそれぞれ、4台5台の防犯カメラを設置しております。職員数でいつでも確認できるような映像システムを導入しておりますし、職員については年1回防犯訓練を行っています。さすまたも要所において対応するようにはしているのですが、

今まで町内の学校でそういう不審者による危険性っていうようなことは発生しておりません。前回、東小学校でも東っ子支え隊というようにことで各企業さんであったり、各個人の支え隊のメンバーの方に来ていただいて、あの時には普通に地域の方が学校の中を歩いていけるような学校をつくっていきたいっていう当時の馬場校長先生の思いがあったのですが、そういうふうに地域の方々で見守っていただく、また朝は全ての登校は全ての箇所地域の方が立っていただいたり、同行引率をしていただきながら、学校に登校できるような体制を整っていただいておりますので、そういった波佐見の地域性っていうようなことがとても協力をしていただいているというありがたいところもございます。こういう防犯そういう事件事故があってはならないところなので、歩道の整備等も気をつけているところです。先日、永尾地区の自転車通学路に草が生い茂っていたことから、教育委員会の職員が鎌を持っていき、草を払ったりミラーが見えにくいところは草や樹木を伐採したりしてきたところです。

森田教育長

ほかご意見がありましたらお聞かせください。

松尾委員

先ほど山下委員さんからもありましたが、絆の日の陶器まつりでの会場での子供たちの様子っていうので、小学生の活動については先ほどから、活発な意見があったのですが、中学生の行動でちょっと目にあまるという行動を耳にしました。お店がかなり出ていて、食べ物もいっぱいあって、部活が終わると部活動の部員単位で会場に行き飲み食いをする、1番真ん中のテントの周囲にお店が並んでいるわけですが、そこで購入をした食べ物を中に入るところ構わず地べたに座って食べているという姿が目には余ると県外の方にも言われたとお店の方が言われたそうです。中学生はどうしているのですかと言われたので、波佐見町の絆の日で、中学生も小学生もいるんですよということを陶器屋さんの方がお話をされたということでしたが、あまり美しい光景ではなかったようなので、その辺から活動して「はちゃまるグッズ」を販売する子供たちの中で掃除をして清掃活動で活躍する子供たちもいる一方で、そうじゃない子供たちの方も、やはり皆さんに見られているっていう、会場でのマナーとか、やはり最低限のマナーとか、ほかから見られているっていう意識、あと波佐見中って書いてあるジャージを着て動いているっていう行動の意識を持って動いてほしいというところを言われました。ごみを拾いの活動はすごくいいことですし「波佐見中学校頑張っているね」と言われているところが、それで全部帳消しになってしまうのはもったいなくて、せっかく3年目で絆の日もいい活動として、なかなかいいものが出来上がりそうな1番いい時期なのに、そこで足を引っ張ってしまうような行動がすごく目についたと言われたので、それは伝えますと申し上げました。

すごく活動できるいいものが出来上がっていて、子供たちに活動の場を与えるというのは、波佐見町の教育のいいところで、それで地元はふるさと愛が育つと思うので、そのためには外から見られているという意識を少

し持つように、先生たちから声をかけていただけたらなと思いました。

渡邊指導主事

この件については、私も目にしたことはなかったのですが、やはりこの絆の日のそもそもの取組として地域の絆を深めていくということと、波佐見町全体を盛り上げていくというような思いも持った絆の日のスタートになっておりますので、こちらの方は、やはり会場での過ごし方のマナーであるとか、そういう公共的な言動ということも、子供たちに指導していく必要があると思います。先ほど教育長からもあったのですが、校長会の折に状況をお伝えして、各学校等でも指導をしていただく形で、波佐見町全体の人みんなで盛り上げていこうというような思いを持って指導していきたいと思っています。

5. 前回会議録確認 (4月定例会の会議録を確認。)

※次回定例会予定 令和7年6月20日(金) 13時30分から
波佐見町役場新庁舎

令和7年5月27日教育委員会定例会会議録署名	
署名委員	馬場 清治
	高木 義典